



「岬」

1917年ごろ、水彩、紙  
27・5cm×35・5cm

藤島武二（1867～1943年）

特集展示「藤島武二 画でも、同じ構図で納コレクシヨ」から、得するまで繰り返し描きつづけたと伝えられる「岬」を紹介します。昭和という時代、つ

まり藤島武二にとってここに紹介する水彩晩年になると、彼は風景画は、大正期の制作と推察されています。晩年

それは1928（昭和3）年、昭和天皇の即位を祝って皇居学問所を飾る油彩画制作を拝命したからでした。

彼はテーマを「日の出」と決めて、それから理想とする「日の出」の情景を求めて国内外各地を精力的に写生旅行したのです。写生地に行くと、水彩、油彩

〈名画の扉〉

大川美術館特集展示から

（田中）